



2月 ひなぎくだより

桜の葉もすっかり落ち、土にかえり、春に花を咲かせる準備をしています。そんな桜を見ていると、『まもり』のさんびかを思い出します。『庭の木の枝 よく見ると 固い殻に囲まれた 小さな木の芽が見つかった 寒い冬でも 負けるな負けるなと 守ってくださる かみさま』

まだまだ寒い日が続きますが、神さまがくださった冬の自然に目を向け、楽しく過ごしていきたいと思います。

生活発表会

22日(土)は、生活発表会がありました。休み明けの26日、「来てくれて嬉しかった!」「Rちゃん(お姉さん)も見てた!」「すごいねって言ってくれたよ」と口々に教えてくれました。お家の方が来てくれることが、3人にとってとても特別で、嬉しいことなんだなと感じました。

動物になりきったり、みんなでカブを引っ張ったり、ダンスを踊ったり、普段の遊びの様子を見ていただけたかなと思います。お越しいただいたお家の方々、ありがとうございました。



わかめ

先生が須磨浦水産で収穫したワカメを見せてくださいました。5cmほどのワカメの赤ちゃんを植付けをして、2か月で1m50cmほどの長さになるそうです。初めて見るワカメに驚くひなぎくグループさん。真ん中の固い茎はめかぶに、めかぶから伸びたひらひらしている部分がわかめだと教えてもらいました。初めは様子見をしていた3人ですが、触ってみると「固い!」「くるくるになってる」と初めての感触に興味津々。匂ってみると、「海の匂い、ちょっとくさいかも…」と苦手だったようです。

給食に入っているわかめを見て、「さっきっと色が違うね」「緑色になってる」「もっとわかめ食べたいな」と嬉しそうにしていました。

私も本物のワカメを見たのは初めてでした。普段何気なく口にしているものも、どんな風に育ったのかを知ると、なんだか愛着がわいて、食べてみたい気持ちになりますね。食べ物について知ることの大切さと、おもしろさを改めて感じる機会となりました。



早いもので、ひなぎくグループさんとして過ごすのは来月で最後となります。新学期に期待を持って過ごせるように、たんぽぽ組さんと交流したり、お昼寝をせずに過ごしてみる機会もつくりたいと思っています。

担任 加瀬悠華